

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会・第11回総会議事録

- 日時：平成30年7月8日（日）13:30～15:00
- 場所：なは市民活動支援センター 会議室1
- 出席：20名、委任状・議決行使権：40名
- 議長団：会長（中野義勝）、議長（木村匡、佐藤崇範）、事務局（沖縄県環境部自然保護課・津波昭史）、運営委員（沖縄県環境科学センター・山川英治）
- 議事録署名人：八重山サンゴ礁保全協議会（吉田稔）、宮古島マリリゾート協同組合（新村一広）

有効会員数（規約第7条の規定による議決権を有する会員）78名中、20名の出席者及び委任状または議決行使権送付40名、合計59名により、成立要件である会員の過半数39名を満たしたので総会が成立し、事務局より提出された議案を協議した。

【アンダーライン部分が総会での決定事項】

【「・」は説明事項および提言事項】

【「→」は説明事項や提言事項に対する意見】

1. 第1号議案 平成29年度活動報告

平成29年度に行った以下の事業について事務局から説明があり、内容について会員に承認を受けた。

- (1) 理事会及び総会の開催、交流会の実施
- (2) 第9回わたしのサンゴ礁イメージ展の実施
- (3) サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金助成事業
- (4) ジュニアサンゴレンジャー事業
- (5) 毎日メディアカフェ
- (6) サンゴ礁ウィーク2018の実施
- (7) 後援、共催、協賛
- (8) ホームページの維持管理
- (9) 各委員会からの活動報告

2. 第2号議案 平成29年度収支決算報告

平成29年度収支決算報告について、事務局から以下のように説明があり、会員からの承認が得られた。また、監査役の鹿熊信一郎氏より、規約14条第3項に基づき平成29年度の会計監査を実施し、関係帳簿及び預金通帳等を元に、適正に管理運営されていることを確認したことが報告された。

歳入	項目	29年度予算	29年度決算	備考
	寄付金収入合計	200,000	148,310	
	沖環科		(14,000)	寄付金内訳
	洋服ポスト		(134,310)	寄付金内訳
	アラムコ寄付	5,000,000	5,405,500	アラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金
	助成金	0	0	
	受取利息合計	330	133	
	一般会計	30	(23)	受取利息内訳
	サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金	300	(89)	受取利息内訳
	アラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金	100	(21)	受取利息内訳
	アラムコ基金外貨口座		\$0.21	受取利息内訳
	前期繰越金合計	13,603,233	13,603,233	
	一般会計	(81,515)	(81,515)	前期繰越金内訳
	アラムコ基金	(13,521,718)	(13,521,718)	前期繰越金内訳
	アラムコ基金外貨口座	\$13.40	\$13.40	
	合計	18,803,563	19,157,176	
		\$13.40	\$13.61	

事前送付した決算報告書では、サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金に、銀行利息の57円の歳入が含まれていなかったため、グレー部分を、また、アラムコ基金外貨口座には、銀行利息0.21ドルの歳入が含まれていなかったため、水色部分を修正します。

歳出	項目	29年度予算	29年度決算	備考
	アラムコ助成事業	3,490,000	2,873,956	
	助成金	(3,000,000)	(2,810,000)	助成事業内訳
	助成金戻り		-(158,537)	
	助成発表旅費	(150,000)		助成事業内訳
	活動費(振込手数料など)	(10,000)	(5,184)	助成事業内訳
	旅費	(300,000)	(187,309)	毎日メディアカフェ
	謝金	(30,000)	(30,000)	毎日メディアカフェ
	ジュニアサンゴレンジャー事業	1,010,000	50,000	
	ジュニアサンゴレンジャー支援	(500,000)		
	JSR助成金(未払金)		(50,000)	
	ジュニアサンゴレンジャー旅費	(500,000)		
	活動費(振込手数料など)	(10,000)		
	事業費	2,265,000	1,421,566	
	那覇空港写真展	(100,000)	(98,340)	活動費内訳
	イメージ展	(40,000)	(40,000)	活動費内訳
	広報資料作成	(200,000)	(50,490)	活動費内訳
	サンゴ礁ウィーク	(1,700,000)	(1,156,481)	活動費内訳
	サンゴ礁ウィーク実行委員会旅費	(200,000)	(58,943)	活動費内訳
	振込手数料	(20,000)	(12,312)	活動費内訳
	その他	(5,000)	(5,000)	活動費内訳
	一般会計費	3,590,000	1,820,399	
	1.会議費	80,000	31,448	
	2.消耗品費	50,000	0	
	3.旅費交通費	550,000	425,583	
	理事会	(250,000)	(195,133)	旅費交通費内訳
	委員会	(50,000)	(0)	旅費交通費内訳
	審査会	(50,000)	(90,780)	旅費交通費内訳
	その他	(200,000)	(139,670)	旅費交通費内訳
	4.謝金等	50,000	(0)	
	5.通信費	180,000	19,848	
	6.雑費	10,000	0	
	7.委託費	2,670,000	1,343,520	
	沖環科	(420,000)	(414,720)	委託費内訳
	キュリオス沖縄	(650,000)	(632,880)	委託費内訳
	NPO法人化	(500,000)		委託費内訳
	ジュニアサンゴレンジャー	(600,000)	(295,920)	委託費内訳
	出版物作成	(500,000)		委託費内訳
	次期繰越金	8,448,563	12,991,255	
	一般会計	-(4,573,455)	(2,587,883)	次期繰越金内訳
	サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金	(9,031,918)	(5,647,851)	次期繰越金内訳
	アラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金	(3,990,100)	(4,755,521)	次期繰越金内訳
	アラムコ基金外貨口座	\$13.40	\$13.61	
	合計	18,803,563	19,157,176	
		\$13.40	\$13.61	

「沖環科」：沖縄県環境科学センター

事前送付した決算報告書では、サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金に、銀行利息の57円の歳入が含まれていなかったため、グレー部分を、また、アラムコ基金外貨口座には、銀行利息0.21ドルの歳入が含まれていなかったため、水色部分を修正します。

財 産 目 録

平成30年3月31日現在

(資産の部)

I 流動資産

1 現金及び預金

1 現 金		25,104	25,104 円
2 預 金			
(1) 普通預金	一般会計口座	3,562,779	
(2) 普通預金	アラムコ口座	6,367,851	
(3) 普通預金	JSR口座	4,805,521	
(4) 普通預金	アラムコ口座	13.61	
			14,736,151 円
			13.61 ドル
資産の部合計		14,761,255	円
		13.61	ドル

(負債の部)

I 流動負債

1. アラムコ助成金未払		1,720,000	
海の生き物を守る会		(300,000)	
エコツーリズム・環境教育ふくみみ		(250,000)	
しかたに自然案内		(300,000)	
泡瀬干潟を守る連絡会		(620,000)	
ちゅら海を守り、活かす海人の会		(250,000)	
2. ジュニアサンゴレンジャー助成金未払		50,000	
負債の部合計		1,770,000	円

(正味資産の部)

正味資産	12,991,255 円
	13.61 ドル

事前送付した決算報告書では、サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金に、銀行利息の57円の歳入が含まれていなかったため、グレー部分を、また、アラムコ基金外貨口座には、銀行利息0.21ドルの歳入が含まれていなかったため、水色部分を修正します。

平成 29 年度未払金内訳

	助成額	概算払	支払日	残高合計
海の生き物を守る会	600,000	300,000	2017/4/13	300,000
エコツーリズム・環境教育ふくみみ	500,000	250,000	2017/10/2	250,000
しかたに自然案内	600,000	300,000	2017/11/3	300,000
泡瀬干潟を守る連絡会	620,000	-		620,000
ちゅら海を守り、活かす海人の会	500,000	250,000	2017/12/18	250,000
ジュニアサンゴレンジャー	50,000	-		50,000
合計				1,770,000

会計担当者のミスにより、海の生き物を守る会への概算払の支出（2017/4/13）を前年度の決算に計上済みのため、海の生き物を守る会への概算払の支出 300,000 円は平成 29 年度決算には含まれていません。

3. 第3号議案 平成30年度事業計画(案)

平成30年度事業計画について事務局から以下の活動計画の説明があり、会員の承認が得られた。

- (1) 理事会及び総会の開催、交流会の実施
- (2) 第10回わたしのサンゴ礁イメージ展の実施
- (3) サンゴ礁ウィーク 2019 及び丸の内キッズジャンボリー2018 の実施
- (4) サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金助成事業
- (5) ジュニアサンゴレンジャー事業
- (6) 那覇空港写真展
- (7) ホームページの維持管理
- (8) 後援、共催、協賛
- (9) 出版事業
- (10) その他活動に必要な事項
 - ・ 広報資料等の作成

・ 那覇空港写真展の開催期間について、7/13からの開催となっているが、7/14からに訂正。

・ ジュニアサンゴレンジャーについて、応募数が少ないようだが、応募内容が活動団体の要望にあっていないからか？

→初めて実施する事業だったので、募集開始が遅れたことが大きな原因だと考えている。今年度は募集開始を早くして、興味を持ちそうな団体に直接周知する予定。

→会員の皆さんにも周知の協力をお願いするとよい。

・ 丸の内キッズジャンボリー2018についてももう少し詳しく説明して欲しい。

→東京で開催する。参加が決まってから登録までの期間が短かったことから、サンゴ礁ウィーク2018実行委員会のメンバーを、そのまま、丸の内キッズジャンボリー2018実行委員会として対応した。今回のイベントには以下の5つのプログラムを出展する予定。

1. ゲームに挑戦！ サンゴのテリトリーウォーズ
2. 即興劇：「海からのご恩とご恩返し」
3. 身近なもので夢のサンゴをつくっちゃおう！
4. サンゴの島々八重山の唄とおどりを楽しもう！
5. 大浦湾の海の中は不思議がいっぱい！（展示）

4. 第4号議案 平成30年度収支予算(案)

平成30年度収支予算について事務局から以下の活動計画の説明があり、会員の承認が得られた。

歳入	項目	29年度決算	30年度予算	備考
	寄付金収入合計	148,310	200,000	
	沖環科	(14,000)		
	洋服ポスト	(134,310)		
	アラムコ寄付	5,405,500	2,000,000	H30丸の内キッズジャンボリー
	助成金	0	0	
	受取利息合計	133	70	
	一般会計	(23)	(20)	
	サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金	(89)	(30)	
	アラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金	(21)	(20)	
	アラムコ基金外貨口座	\$0.21		
	前期繰越金合計	13,603,233	12,991,255	
	一般会計	(81,515)	(2,587,883)	
	サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金	(13,521,718)	(5,647,851)	
	アラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金		(4,755,521)	
	アラムコ基金外貨口座	\$13.61	\$13.61	
	合計	19,157,176	15,191,325	
		\$13.61	\$13.61	

事前送付した決算報告書では、サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金に、銀行利息の57円の歳入が含まれていなかったため、グレー部分を、また、アラムコ基金外貨口座には、銀行利息0.21ドルの歳入が含まれていなかったため、水色部分を修正します。

歳出	項目	29年度決算	30年度予算	備考
	アラムコ助成事業	2,873,956	3,710,000	サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金
	助成金	(2,810,000)	(3,000,000)	
	助成金戻り	-(158,537)		
	助成発表旅費		(150,000)	
	活動費(振込手数料など)	(5,184)	(10,000)	
	毎日メディアカフェ旅費	(187,309)		
	毎日メディアカフェ謝金	(30,000)		
	丸の内キッズジャンボリー旅費		(500,000)	
	丸の内キッズジャンボリー謝金		(50,000)	
	ジュニアサンゴレンジャー事業	50,000	1,010,000	アラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金
	ジュニアサンゴレンジャー支援		(500,000)	
	JSR助成金(未払金)			
	ジュニアサンゴレンジャー旅費		(500,000)	
	活動費(振込手数料など)		(10,000)	
	事業費	1,421,566	4,265,000	
	丸の内キッズジャンボリー		(2,000,000)	
	那覇空港写真展	(98,340)	(100,000)	
	イメージ展	(40,000)	(40,000)	
	広報資料作成	(50,490)	(200,000)	
	サンゴ礁ウィーク	(1,156,481)	(1,700,000)	沖縄タイムスへの広告費50万円含
	サンゴ礁ウィーク実行委員会旅費	(58,943)	(200,000)	
	振込手数料	(12,312)	(20,000)	
	その他	(5,000)	(5,000)	
	一般会計費	1,820,399	3,590,000	
	2.会議費	31,448	80,000	
	3.消耗品費	0	50,000	
	4.旅費交通費	425,583	550,000	
	理事会	(195,133)	(250,000)	
	委員会	(0)	(50,000)	
	審査会	(90,780)	(50,000)	
	その他	(139,670)	(200,000)	
	5.謝金等	(0)	50,000	
	6.通信費	19,848	180,000	
	7.雑費	0	10,000	
	8.委託費	1,343,520	2,670,000	
	沖環科	(414,720)	(420,000)	アラムコ助成事業
	キュリオス沖縄	(632,880)	(650,000)	サンゴ礁ウィーク
	NPO法人化		(500,000)	
	ジュニアサンゴレンジャー	(295,920)	(600,000)	
	出版物作成		(500,000)	
	次期繰越金	12,991,255	2,616,325	
	一般会計	(2,587,883)	-(3,067,097)	
	サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金	(5,647,851)	(1,937,881)	一般会計へ150万円
	アラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金	(4,755,521)	(3,745,541)	一般会計へ160万円
	アラムコ基金外貨口座	\$13.61	\$13.61	
	合計	19,157,176	15,191,325	
		\$13.61	\$13.61	

事前送付した決算報告書では、サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金に、銀行利息の57円の歳入が含まれていなかったため、グレー部分を、また、アラムコ基金外貨口座には、銀行利息0.21ドルの歳入が含まれていなかったため、水色部分を修正します。

・次期繰越金が平成 29 年度決算では 1300 万円ほどあるのに、平成 30 年度予算案が 260 万円程度になっているが、繰越金が大きく減るのはどうしてか？また、どのような支出が大きいのか？

→予算案で支出予定の項目が、未実施等で支出されていないことが大きな原因。例えば、ジュニアサンゴレンジャーの平成 29 年度予算は 1,010,000 円だったが、実際には 50,000 円しか執行されていない。その他にも、一般会計の委託費の NPO 法人化 50 万円と出版物作成の 50 万円は平成 29 年度には執行されていない。また、サンゴ礁ウィークは当初 170 万円だった予算が、120 万円程度の執行となっている。平成 30 年度予算案の次期繰越金が 260 万円となっているが、実際には未執行分の余剰金が出てくると思われる。

・あと 2 年程でお金がなくなるというのは、どのような予測に基づいているのか？

→平成 30 年度予算案の次期繰越金が 260 万円となっており、平成 31 年度にアラムコ助成事業の年間 300 万円の支出は不可能になる。助成事業自体ができなくなる。協議会を運営するお金はあると思う。

・アラムコから寄付を頂いた時に、期限が決まっていたと思うが、その期限が今年度なのか？

→当初の期限は数年前（2017年3月31日）だったが、延長した。（正確には「期限を2019年会計年度終了時点までに延長、変更」でした）。（ジュニアサンゴレンジャーは、「August 31, 2020」まででした。）

5. 第5号議案 役員選挙結果

事務局より役員選挙について以下の結果が報告され、会員の承認が得られた。

平成30年度沖縄県サンゴ礁保全推進協議会役員について

- ・規約第13条により、現役員の任期が平成30年度の総会の日までとなっており、次期役員を選出するため、平成30年4月26日（木）～6月1日（金）の期間に、役員選挙を実施しました。
- ・規約により、役員選挙では、会長1名、理事18名を互選により選出されました。
- ・規約により、副会長1名、監査役2名が指名されました。
- ・得票数の多かった被選挙人から順に選出されましたが、1名が副会長へ指名され、1名が辞退したため、繰り上がりにより以下の18名が選出されました。

【会長】規約第12条により、互選による選出

- ・中野 義勝

【副会長】規約第12条により会長が指名

- ・八重山サンゴ礁保全協議会

【理事】規約第12条により、互選による選出

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| ・安部 真理子 | ・梶原 健次 |
| ・泡瀬干潟を守る連絡会 | ・環境省那覇自然環境事務所 |
| ・案納 昭則 | ・木村 匡 |
| ・NPO 法人沖縄エコツーリズム推進協議会 | ・有限会社コーラルクエスト |
| ・沖縄県衛生環境研究所 | ・後藤 亜樹 |
| ・沖縄県環境部自然保護課 | ・WWF ジャパン |
| ・沖縄県立博物館・美術館 | ・一般社団法人渡嘉敷ダイビング協会 |
| ・沖縄リーフチェック研究会 | ・藤田 喜久 |
| ・鹿熊 信一郎 | ・宮古島マリンリゾート協同組合 |

【監査役】規約第12条により会長が指名

- ・沖縄県環境部環境整備課
- ・佐藤 崇範

6. 第6号議案 その他

事務局より法人化準備委員会を設置して、会員からの意見も交えながら、法人化に向けた準備を進めることについて提案がなされ、会員により承認された。

当日配布資料参照（第6号議案 その他）

- ・理事会メンバーを中心として、法人化に向けた勉強会を開催した（報告）。
 - ・これまでの議論の経緯、将来的に寄付者に対する税制上の優遇措置が適用される認定NPOを目指すことを考えると、NPO法人が望ましい。
 - ・総会前に開催された理事会で、法人化に向けた議論を行った。NPO法人化を進めるにあたり、協議会の組織体制だけでなくあり方も大きく変わる可能性があり、法人化には準備が必要なため、法人化準備委員会を設置したい。
 - ・法人化について認識の共有が重要。会員への周知も行っていきたい。
 - ・法人化するメリットとデメリットを説明してもらいたい。
- 法人化すると、協議会として契約が可能となったり、財産を管理できるようになる。また、認定NPOとなれば、寄付者に税制上の優遇措置がある。NPO法人になった場合、理事の責任は重くなり、事務手続きや会計処理など事務局の負担も大きくなる。
- ・現状の任意団体のままだと、財産管理の面から会を維持できない。
 - ・法人化することは必要だと思うが、ビジョンの共有が必要。
 - ・専従スタッフが必要。
 - ・会員名簿には様々な方が参加している。法人化した場合に、参加できない方が多いと思う。任意団体だからこそ参加できている面もある。

第6号議案 その他

1 法人化について

(1) 法人化に向けた勉強会の開催

第23回理事会において、勉強会を開催することとなったことから、平成30年6月20日(水)にNPO法人まちなか研究所わくわくの宮道喜一氏を招き「法人化に向けた勉強会」を開催した。

勉強会によれば、法人化した場合、契約の主体となることや、組織として財産を管理することができることから、現在当団体が所有している資産のことを考えると、法人化は避けられない。

設立に要する期間は、一般社団法人の方が短いですが、これまでの議論の経緯、将来的に寄付者に対する税制上の優遇措置が適用される認定NPO法人を目指すことを考えると、NPO法人が望ましいと思われる。

【参考】第10回総会での提案事項

将来委員会での議論の結果、NPO法人化を目指すことが望ましいこととなった。将来的には認定NPO法人を目指す。ただし、NPO法人化については、専門機関の助言等を得つつ検討を進めることとし、その途上において他の法人格による法人化が適切であると判断される場合は、理事会においてその都度検討する。

当協議会のNPO法人化及び法人としての組織運営体制については引き続き理事会で議論を行っていくことを併せて提案する。

(2) NPO法人の設立に向けた活動

- ①NPO法人設立に向けて、理事会等で発起人を10名つもの必要がある。
- ②申請に向けて、数名で以下の内容を整理する必要がある。
 - ・定款
 - ・会員の種類、会費の有無
 - ・事務所の住所
- ③役員（理事3名以上、監事1名以上）の選出（申請の際に住民票が必要）
- ④手続きの大まかな流れは以下のとおりである。（詳細なスケジュール案は別紙参照）
 - ・発起人会
 - ・設立総会
 - ・申請（約5ヶ月）
 - ・法人登記
 - ・所轄庁に届出
- ⑤現在の組織は、新法人の登記までとなる。（解散総会の開催も必要。）

【提案事項】

NPO法人の設立（移行）に向けて、準備を進める。

別紙

法人化に向けたスケジュール案

7月	法人化へ向けた委員会の起ち上げ・NPO 法人設立に向けた基本的検討 <ul style="list-style-type: none"> ・社員(正会員)を 10 名以上集める ・役員(理事・監事)の目処をつけておく ・設立代表者を決定する ・法人名を決定する ・法人設立の目的をまとめておく ・事業内容・活動内容が法律の基準を満たしているか検討する ・事業内容・活動内容を決定する ・主たる事務所(従たる事務所)の位置を決定する ・会員の種類を考え、入会金・会費の額を決定する 事業年度を決定する ・法人の運営方法を決定しておく ・活動を行うためにどれぐらいの資金が必要か計算する ・決定事項が法律に違反していないかチェックする
8月	
9月	設立趣旨書・定款・事業計画書(2期分)・収支予算書(2期分)・社員名簿・役員名簿 役員就任予定者の住民票・設立認証申請書 等の作成
10月	発起人会・設立総会・所轄庁に申請
11月	
12月	
1月	
2月	
3月	法人登記
4月	沖縄県サンゴ礁保全推進協議会解散総会

以上